

令和 6 年度  
事業実績報告書

社会福祉法人 嘉手納町社会福祉協議会

## 目次

### I. 法人運営部門

1. 会務の運営並びに連絡調整	2
(1) 理事会	2
(2) 評議員会	2
(3) 法人監事監査	2
(4) 町補助金交付団体監査	2
2. 役職員研修	3
(1) チーム支援コンサルティング	3
3. 会員制度の強化と自主財源の確保	3
(1) 社協会費実績	3
(2) 寄付金実績	3
4. 総合福祉センターの運営管理	4
5. 相談援助実習生の受入れ	4

### II. 地域福祉活動推進部門

1. 福祉でまちづくり機能	4
(1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業	4
(2) 福祉団体合同新年会「初春の集い」	4
(3) 福祉団体連絡会議	4
(4) 生きがいデイサービス交流会	4
(5) 心配ごと相談所の運営	5
(6) 広報啓発活動	5
(7) 赤い羽根共同募金運動	5
(8) 歳末たすけあい募金運動	6
(9) 福祉バスの運行	6
(10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業	7
① 個別支援	
② 地域支援(小地域福祉活動)	
③ かでな安心キット事業(緊急医療情報キット)	
④ 地域見守り協力活動	
⑤ あさかふえ	
⑥ 屋良っ子番所	
⑦ みんなでゆるクッキング会	
(11) 障害者地域生活支援事業(町受託事業)	9
① 理解促進研修・啓発事業	
② 自発的活動支援事業	
③ 成年後見制度法人後見支援事業	
④ スポーツ・レクリエーション教室開催等(社会参加支援)	
⑤ 文化芸術活動振興(社会参加支援)	
⑥ 声の広報等発行事業	
⑦ 三町村登録手話奉仕員養成講座(入門過程)	

(12) 食料支援事業	12
(13) 第9回嘉手納町社会福祉大会の開催	12
2. 福祉活動推進事業	13
(1) 児童・青少年福祉事業	13
① 比謝川鯉のぼりフェスタ	
② 制服リサイクル事業	
(2) 老人福祉事業	13
① ふれあい訪問事業	
② 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）	
(3) 母子・父子福祉事業	13
① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援	
3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能	14
(1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）	14
4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）	14
(1) 福祉教育の推進	14
① 福祉教育協力校助成事業	
② 福祉教育推進助成事業	
③ 小学生ボランティアスクール事業	
④ 中高生ボランティア事業	
⑤ ボランティア感謝の集い	
⑥ 福祉教育お話し会	
(2) ボランティア支援事業	16
① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）	
② ボランティア広報誌	
③ ボランティア保険への加入促進	
④ ふれあい訪問ボランティア研修	
(3) ボランティア団体助成事業	16
(4) ボランティア活動拠点整備	16

### III. 福祉サービス利用支援部門

1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）	17
2. 生活福祉資金貸付事業	17

### IV. 在宅福祉サービス部門

1. 高齢者等食の自立支援事業（配食サービス・町受託事業）	18
2. 地域介護予防活動支援事業（ミニデイサービス・町受託事業）	18
3. 介護用品貸与事業	19
4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）	19
5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）	19

## 令和 6 年度 事業実績報告書

令和 5 年度に実施された総合福祉センター大規模改修も終え、リニューアルしたセンターでの社協活動が再開され、また、福祉の拠点として多くの町民の皆様にご利用いただきました。

令和 6 年度における本会の主な活動を見ると、法人運営部門では、人材育成と組織づくりへの取り組みとして、チーム支援コンサルティングを導入し、職員間での対話を通して相互理解を深め、よりよい職場環境づくりを進めました。それにより、職員間での関係性やチームワーク、連携が強化されました。

地域福祉活動支援部門では、コミュニティソーシャルワーク事業における個別支援として、地域や関係機関と連携し対象となる世帯の支援を行いました。また、地域支援としては、小地域福祉活動が継続に活動できるようサポートしてまいりました。屋良っ子番所や、あさカフェなどの活動は、児童へ広く周知されようになり、子ども・子育て世代を対象とした支援活動につながっております。

福祉サービス利用支援部門では、昨年から生活福祉資金特例貸付の償還が開始されたことを受けて、引き続き償還免除や猶予相談など相手に寄り添い相談しやすい対応を心掛け、また、生活相談などにも、関係機関と連携し対応するなど、安定した生活が送れるよう支援しました。

運営面での課題がありました放課後等デイサービス事業においては、職員配置が整ったことや受入れ利用児の増員などの対策を講じたことにより前年度より収益の増額が見込まれました。自主事業として継続的な運営ができるよう引き続き体制を維持すると共に、利用児や保護者が通い続けられる事業所を推進していきます。

令和 6 年度においても、地域や町、関係機関、団体等の協力を得ながら活動を実施してきました。今後も、嘉手納町の地域福祉を推進すべく、引き続き諸団体との連携を強化していきたいと思っております。

以下、令和 6 年度の事業の詳細を報告します。

## I. 法人運営部門

### 1. 会務の運営並びに連絡調整

#### (1) 理事会【全3回】

回数 日時	出席	議案(報告)	会場
第1回 R6 6/11 14:00	理事 9 (欠1) 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業実績報告について</li> <li>・令和5年度資金収支決算について</li> <li>・評議員候補者の選任について</li> <li>・評議員選任・解任委員会の選任について</li> <li>・定款の一部改正について</li> <li>・相談支援事業所ていんがーら運営規程の一部改正について</li> <li>・令和6年度定時評議員会の開催日時・場所及び議事に付すべき事項について</li> <li>・(報告) 社協会長の業務執行状況について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室
第2回 R7 1/16 14:00	理事 9 (欠1) 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度資金収支(第一次)補正予算(案)について</li> <li>・令和6年度第2回評議員会の開催日時・場所及び議事に付すべき事項について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室
第3回 R7 3/19 14:00	理事 9 (欠1) 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業計画(案)について</li> <li>・令和7年度資金収支予算(案)について</li> <li>・令和6年度第3回評議員会の開催日時・場所及び議事に付すべき事項について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室

#### (2) 評議員会【全3回】

日時 回数	出席者 (出席/総数)	議案(報告)	会場
定時 評議員会 6/27 14:00	15/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業実績報告について</li> <li>・令和5年度資金収支決算について</li> <li>・定款の一部改正について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室
第2回 R7 2/4 10:00	15/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度資金収支補正予算(第一次)(案)について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室
第3回 3/28 10:00	15/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業計画(案)について</li> <li>・令和7年度資金収支予算(案)について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階大集会室

#### (3) 法人監事監査

日時	内容	会場
6/6 10:00	令和5年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4階中会議室

#### (4) 町補助金交付団体監査

日時	内容	会場
7/9 13:30	令和5年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4階中会議室

## 2. 役職員研修

役職員の資質向上を図る為、職員研修の実施、各種研修会への派遣、また中部地区社会福祉協議会連絡協議会の各部会や中部地区老人クラブ担当者研究会等へ職員を派遣し、職員の資質向上を図った。

#### (1) チーム支援コンサルティング

期日	テーマ	講師
4月～6月	個別面談（全職員）	一般社団法人ポリネ
8月～9月	MBTI 検査およびワークショップ（全職員）	
11月	MBTI フォローアップ（全職員）	
年9回	正規職員を中心とした対話会	

## 3. 会員制度の強化と自主財源の確保

社協の自主財源確保のため、戸別会員・賛助会員・特別会員を募集し、町民の協力により次の実績を上げた。

#### (1) 社協会費実績

・令和6年度実績 1,803,000 円（前年比 73,000 円）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
戸別会員	1,400,000 円 (2,800 件)	1,369,000 円 (2,738 件)	1,328,500 円 (2,657 件)	1,461,500 円 (2,923 件)
賛助会員	78,000 円 (46 件・78 口)	86,000 円 (52 件・86 口)	72,000 円 (46 件・72 口)	52,000 円 (47 件・52 口)
特別会員	325,000 円 (33 件・65 口)	275,000 円 (32 件・55 口)	290,000 円 (35 件・58 口)	285,000 円 (34 件・57 口)
計	1,803,000 円	1,730,000 円	1,690,500 円	1,891,500 円

#### ・戸別会費内訳

	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
世帯数(件)	655	433	261	301	396	710	2,800
前年比(件)	△12	45	33	11	△4	△11	62
金額(円)	327,500	216,500	147,000	156,000	198,000	355,000	1,400,000
前年比(円)	△6,000	22,500	16,500	5,500	△2,000	△5,500	31,000

#### (2) 寄付金実績

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
件数	28	28	26	27	31	28
金額(円)	6,524,200	8,336,641	7,714,900	5,592,229	4,943,000	6,018,848

#### 4. 総合福祉センターの運営管理

町内福祉団体・町各種検診・事業を中心に、町民の福祉向上と健康増進を推進するため、効果的・効率的な運営を実施した。

・総合福祉センターの利用状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用回数（回）	778	175	1,099	757	963
利用者数（名）	11,385	1,711	15,766	11,551	10,325

※福祉センター改修工事のため、令和5年6月～令和6年5月は利用無し

#### 5. 相談援助実習生の受入れ

地域社会が求める社会福祉士の人材育成へと貢献すべく、公的責任も帯びている社会福祉協議会として県内学校の180時間以上の実習受入を行う。（琉球大学は80時間）

実習生 (計2名)	沖縄統合医療学院	1名
	琉球大学	1名

## II. 地域福祉活動推進部門

住民参加や協働による福祉活動の支援など、地域福祉推進の為の体制強化と事業の推進を図った。

### 1. 福祉でまちづくり機能

#### (1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業

福祉団体への助成や活動への支援を行い、団体の基盤強化と自主運営を支援した。

（共同募金の配分金より一部助成）

福祉団体名	助成額	備考
嘉手納町老人クラブ連合会	100,000 円	
嘉手納町精神療養者家族会	200,000 円	
嘉手納町民生委員児童委員協議会	150,000 円	
嘉手納町障がい福祉協会	100,000 円	
合計	550,000 円	

#### (2) 福祉団体連絡会議

日時	内容	会場
12/5	・福祉団体合同新年会 第37回初春の集いについて ・新春町民の集いについて	嘉手納町総合福祉センター

#### (3) 福祉団体合同新年会「初春の集い」

日時	参加者	内容	会場
R7/1/25	90 名	各団体からの余興、お楽しみ抽選会など	嘉手納町総合福祉センター

#### (4) 生きがいデイサービス交流会

日時	参加者	内容	会場
11/22	162 名	90 歳以上高齢者への記念品贈呈、 歌三線の合唱、群舞、 元ちゃん（前川守賢）歌謡ショー	嘉手納町中央公民館

(5) 心配ごと相談所の運営

無料弁護士相談を実施することで、町民の日常生活上の法律に関わる相談に対応し、適切な助言や援助を行い町民の福祉の向上を図った。

開設日：第2・4金曜日 午後2時～午後4時15分（完全予約制）

場 所：4月～6月総合福祉センター3階、7月～3月ネーブルカテナ内

相談員：弁護士4名

開設日：21日

相談件数：45件

相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
財 産	30	人権・法律	7	住 宅	2
職業・生業	2	離 婚	2	生 計	2
医 療	1	児童福祉・保健福祉	1	その他	2
				合計	49

(6) 広報啓発活動

社協広報誌を年4回発行するとともに、町広報等への掲載を通して町民へ社協活動のPRを図った。またインターネットを活用し、新たな町民へのPR方法を構築した。

① 社協だよりの発行（4月・7月・10月・2月：年4回）

② 町広報紙の紙面活用

③ 嘉手納町社協 web サイトの運営【<https://www.kadena-shako.com/>】

	令和6年度	令和5年度	前年比
ユーザー数	3,297	2,824	+16.7%
ページビュー	9,364	8,412	+11.3%

④ Facebook ページの運営【<https://www.facebook.com/kadena.shakyo/>】

⑤ LINE 公式アカウントの運営

⑥ しあわせ広がるフォトカレンダー事業

町内の福祉活動や社協の取り組みを地域の方々へ知ってもらうためにカレンダーを作成。

・作成部数：500部

(7) 赤い羽根共同募金運動

社協の福祉事業の財源となる赤い羽根共同募金運動の募金活動を自治会、民生委員の協力のもと実施した。

期間：令和6年10月1日～令和7年3月31日

募金内容：戸別募金、職域募金、法人募金、個人大口募金、学校募金

共同募金実績額

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
募金実績額	3,043,690	2,861,987円	2,724,291円	2,965,189円	3,107,867円
達成率	86.5%	80.5%	76.4%	83.2%	86.9%



募金内訳（177 件・3,073,690 円）

募金別	法人	職域	戸別	個人	学校	イベント	その他	合計
件数 (前年度)	55 (52)	50 (46)	6 (6)	35 (47)	5 (4)	17 (0)	7 (5)	175 (160)
金額 (前年度)	813,000 (750,000)	283,036 (366,500)	1,393,000 (1,355,500)	355,978 (268,814)	108,608 (102,513)	46,510 (0)	43,558 (18,660)	3,043,690 (2,861,987)

(8) 歳末たすけあい募金運動

歳末において募金活動を実施し、一人暮らし高齢者への物品の支給を地域の協力のもと実施した。また、法外援護事業として、現行制度で対応が難しく困窮している住民に対して緊急的な支援などを実施した。

期間：令和 6 年 12 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日

募金内容：戸別募金、職域募金

歳末たすけあい募金実績額

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
募金実績額	819,978 円	820,610 円	890,432 円	839,211 円	884,757 円
達成率	91.1%	91.2%	98.9%	83.9%	88.5%

募金内訳（47 件・819,978 円）

募金別	戸別募金	職域募金	個人募金	その他	合計
件数 (前年度)	6 (6)	40 (36)	0 (1)	1 (1)	47 (44)
金額 (前年度)	557,400 (550,400)	232,578 (239,710)	0 (500)	30,000 (30,000)	819,978 (820,610)

(9) 福祉バスの運行

町内各種福祉団体等を中心に、福祉バスの運行を実施し活動支援を行った。

利用内訳 ※（ ）は前年度実績

利用団体	利用回数	人数
福祉団体	56 (59)	788 (808)
ボランティア団体	0 (0)	0 (0)
行政関係・行政委員会	15 (14)	726 (748)
議会関係	0 (0)	0 (0)
学校教育関係	17 (21)	654 (727)
町内各種団体	16 (12)	613 (591)
産業関係団体	3 (3)	66 (54)
その他公的団体	26 (28)	632 (669)
合計	133 (137)	3,479 (3,597)

## (10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業

嘉手納町地域福祉推進計画に位置付けられているコミュニティソーシャルワーク事業において、コミュニティソーシャルワーカーを担当圏域ごとに2名配置。地域や関係機関、他の事業担当者と連携して個別支援を行った。地域支援においては、小地域福祉活動への継続した関わりを行いながら、あさかふえや屋良っ子番所など、高齢や障がいに加えて子ども・子育て世帯を主な対象とした取組みを自治会と共に行った。

### ① 個別支援

今年度は、切れ目のない支援となるよう、障がい福祉から高齢福祉への移行期にあるケースに対し、関係機関と連携して対応した。また、食糧支援や経済的な相談にも、貸付相談員と連携して対応するケースが増加した。

さらに、自宅で亡くなっていた高齢者の事例から、孤独死について自治会や民生委員とともに話し合いを重ねた。

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数 (実人数)	1,067件 (108名)	1,033件 (161名)	1,110件 (127名)	1,149件 (-)	1,282件 (-)

ケース会議：10回（開催1回・参加9回）

### ② 地域支援（小地域福祉活動）

これまでの活動や認知症に関する取り組みを踏まえ、活動のテーマや目的を確認しながら、継続的に支援を行った。

名称	支援開始月	内容
南区地域見守り隊 (活動者18名)	H25年12月	昨年度に引き続き、認知症をテーマとした取り組みを実施した。比謝川の里 玉城竜一氏による講義のほか、区内にお住まいの認知症高齢者のご家族からお話を伺い、見守り隊としてできることを考えたり、訪問活動を行った。
東区見守り隊 (活動者20名)	H28年3月	訪問活動を行いながら、今後の見守り活動の展開について話し合いを重ねた。今年度には、自宅で亡くなっていた事例が数件あったことを受け、役員とともに孤独死と見守り活動のあり方について話し合いを行った。
西区ささえ愛たい (活動者4名)	R1年7月	話し合いを重ねたうえで訪問活動を実施し、気がかりな方の状況確認を行った。
中央区気になる会 (活動者7名)	R3年5月	高齢者世帯を中心に、区内の気がかりな方の状況を把握するための確認を行った。訪問による状況把握を通じて、なかゆくい朝市にお誘いする。ふれあい訪問を開始するなど、定期的な見守り活動へとつなげている。

#### ◇地域での話し合いの場

【西浜区つなげる会】（自治会長・民生委員との話し合い）

令和3年5月より継続実施する中で、参加者の発言も活発になり、地域とCSWが連携して個別支援を行うケースが増えている。

#### ◇子育て世代の座談会の実施

主担当に加え、子育て世代の職員とも検討を重ねたうえで、町内で子育て中のママ・パパ

に参加していただいた。普段の子育てや地域活動への参加状況、日々感じていることなどを伺う中で、コミュニケーションやすぐに否定せずに出来る方法を考えることの大切さ、既存の社会資源にとらわれない「子どもが集える場」へのアイデアなど、さまざまな話題が展開された。

### ③ かでな安心キット事業（緊急医療情報キット）

他事業（食の自立支援事業等）担当と連携して事業を案内し、新規申請につなげるほか、関係機関からの紹介や家族からの設置希望に応じ、申請や新規設置につながった。

年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
申請	18	11	9	5	25
設置	14	5	9	10	17
中止	28	26	21	19	26
設置件数	230	243	263	276	284

※設置件数については、設置前に施設等入所や逝去される方もいるため、

必ずしも（今年度設置件数＝前年度設置件数＋今年度の設置者数－今年度中止者数）とはならない。

### ④ 地域見守り協力活動

今年度は、新聞販売店や水道課、不動産業者からの連絡を受けて対応を行った。CSW が既に関わっていたケースに加え、見守り協定先からの連絡により継続した関わりにつながったケースもあった。町内で行われている多様な取り組みがつながり、地域住民と見守りを行う事業者や個人が安心できる地域となってきていると感じる。

令和 6 年 10 月に実施した連絡会では、見守り協定を締結している 11 事業所 14 名の参加があり、見守りに関する本会の事業内容と実際の対応事例についての報告を行った。その後の意見交換では、詐欺被害防止に向けた提案や、協定締結により連絡先が定まることでの安心感、事業所内での共有の大切さなどについて多くの意見が寄せられた。

#### 【締結状況（14 事業所と協定締結）】

##### ○協力活動締結先事業所一覧○

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 日本郵便株式会社沖縄郵便局     | 2. 琉球新報屋良販売店      |
| 3. 琉球新報嘉手納南販売店       | 4. 琉球新報水釜販売店      |
| 5. 沖縄タイムス嘉手納屋良販売店    | 6. 沖縄タイムス水釜第一販売店  |
| 7. 沖縄タイムス水釜第二販売店     | 8. 嘉手納町上下水道課      |
| 9. 株式会社比謝川タクシー       | 10. 比謝川ガス株式会社     |
| 11. 沖縄ヤクルト株式会社読谷センター | 12. 生活協同組合コープおきなわ |
| 13. 社会福祉法人 幸仁会 比謝川の里 | 14. 有限会社 德里住建     |

### ⑤ あさかふえ

休日明け月曜日の朝に、子ども達や保護者、地域住民がホッとできる時間を過ごし、多世代交流の場となるよう継続して実施している。取り組みが徐々に地域に浸透し、子どもたちや保護者の参加が定着し、毎回 50 名以上が立ち寄るなど、参加者数が増加している。結果として、子ども達の見守りに加え、保護者同士が自然に会話する場面が多く見られるようになっている。

令和 6 年度も町内飲食店とのコラボ企画として「あさかふえマルシェ」を 5 回実施した。嘉手納地区防犯協会より「いかのおすし」の文房具等を配布していただいた。

実施日時	毎週月曜日 7:00～8:30
実施場所	北区コミュニティセンター駐車場
対象	嘉手納町民
実施回数	あさかふえ 31 回（内、あさかふえマルシェ 5 回）

#### ⑥ 屋良っ子番所

子どもたちの状況把握と多世代交流の機会をつくること、自治会の活動を地域に周知することを目的として、令和 5 年 7 月より、下校時の子どもたちを見守る「つどいの場」を継続して実施している。毎回、小学生を中心に 70 名以上が立ち寄り、自治会や本会職員などと定期的に顔を合わせることで、交流の場としても定着しつつある。

今年度からは、より多くの児童がコミュニティセンターに立ち寄ることを目指し、嘉手納地区防犯協会にご協力いただき、少年補導員とともに、センター内での「ものづくりコーナー」を企画・実施した。

実施日時	毎月第 2・第 4 金曜日 15:00～16:30 （屋良小学校休校日を除く）
実施場所	東区コミュニティセンター・屋良ふれあいパーク
対象	屋良小学校児童を中心とした子ども達
実施回数	17 回

#### ⑦ みんなでゆるクッキング会

同世代の子ども達や保護者同士が、一緒に夕食を作り、食べる過程を通じてつながり・交流するピア（対等な立場）の関係性が生まれること、また、将来のモデルとなりうる多様な大人と関わる場となることを目指し、中央区自治会の協力を得て、スクールソーシャルワーカーと連携しながら取り組みを進めている。

コミュニティセンターで活動を行うことで、民生委員や地域住民と一緒に調理や食事を行う場面もあり、子どもたちが自然な形で地域の大人と関わる機会となっている。

実施日時	毎月最終木曜日（変動あり）
実施場所	中央区コミュニティセンター ほか
対象	社会的孤立の状態にあると思われる世帯や 養育環境が気がかりな世帯の親子
実施回数	11 回
参加実人数	27 名（児童・保護者・ボランティア含む）

### （II）障害者地域生活支援事業（町受託事業）

障がい者がその有する能力及び適正に応じて、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要なサービスや情報を提供し、障がい者の自立と社会参加を支援した。

#### ① 理解促進研修・啓発事業

○講演会の開催（開催場所：総合福祉センター）

期日	内容	参加者	講師
6/28	お話し会：かてな町「発達障害と子育て」 ～当事者と専門家が互いに語る～	20 名	木内 寛長 氏 畑中 咲奈 氏
12/7	お話し会：かてな町「発達障害と子育て」 ～発達障害について語り合う～	22 名	

○障害者・児に関わる事業所および障害者地域生活支援事業によるポスターの掲示

掲示場所：町総合福祉センター4階

期間：令和6年12月6日～13日 ※障害者週間（12/3～12/9）に合わせて開催

○ペアレントトレーニング講座（全8回）

回数	期日	内容	参加者	講師	会場
第1回	10/10	プログラム全体のオリエンテーション	3名	岡崎綾子氏	総合福祉センター
第2回	10/24	子どもの行動の観察と理解	4名		
第3回	11/7	子どもの行動への良い注目のしかたと3つの行動タイプ分け	4名		
第4回	11/21	前半ふりかえりと親子タイム	4名		
第5回	12/5	子どもが従いやすい指示の出し方	3名		
第6回	12/19	上手な注目のはずし（無視）の仕方（ほめるために注目を外す）	3名		
第7回	1/16	トークン表（めあて表）と限界設定	3名		
第8回	1/30	全体のふりかえり	3名		
－	2/27	フォローアップ	4名		

○“聴覚障がい者から見える世界”と“使いたくなる手話”体験教室

	期日	内容	参加者	講師	会場
講義1	6/5	聴覚障がい者の生活（当事者による講話）	12名	新垣聖子氏 通訳派遣2名	嘉手納高等学校 総合学科 3年次クラス
講義2	7/10	手話による日常会話を学ぶ	10名	神田朋子氏 嘉数勝江氏	
講義3	9/11	交流会	12名	町内当事者2名 手話サークル2名	

② 自発的活動支援事業

○ゆんたく会の開催（計5回）

回数	期日	内容	参加者	会場
第1回	7/17	パステルアート 色の持つパワーで癒されよう	5名	シェアルーム Tree
第2回	9/26	Make it Yourself ドリンクホルダー	5名	総合福祉センター
第3回	11/20	あずま袋をつくろう♪	6名	
第4回	12/27	正月に向け盛花を作ろう！！	10名	
第5回	3/6	ユンタクはんたくランチ会♪	7名	

③ 成年後見制度法人後見支援事業

・研修会（講師：竹藤登氏〔沖縄総合医療学院社会福祉学科学科長〕）

期日	内容	参加者	場所
R7 1/31	本人の特性に応じた意思決定支援	町福祉課 5 名、社協 7 名、 あすなろ 2 名、 ていんがーら 1 名 計 15 名	嘉手納町役場 中会議室

④ スポーツ・レクリエーション教室開催等（社会参加支援）

○楽しくカラダを動かそう！レク

期日	内容	参加者	講師	会場
6/2	ミニゲームを取り入れた 5 つのプロ グラムで楽しくカラダを動かす	14 名 (4 世帯)	手登根雄次氏 (琉球スポーツ サポート)	嘉手納 スポーツドーム
12/1		13 名 (5 世帯)		

○ボルダリング

期日	内容	参加者	講師	会場
8/8	ボルダリングを通して町内の児童放 課後デイ 3 事業所の交流を図った	14 名	池原亮氏 (コルピキ)	コルピキ

○バルーンをみんな一緒に楽しもう

期日	内容	参加者	講師	会場
R7 2/16	バルーンパフォーマンス鑑賞、 バルーンづくり	14 名 (5 世帯)	仲宗根麗氏	総合福祉センター

⑤ 文化芸術活動振興（社会参加支援）

○アフリカの太鼓『ジャンベ』 講師：gajako・masato（諸留華英・将人）

回数	期日	参加者	会場
第 1 回	4/13	9 名	嘉手納町総合福祉センター大集会室
第 2 回	5/11	8 名	町民の家
第 3 回	6/8	8 名	
第 4 回	7/20	9 名	総合福祉センター
第 5 回	8/10	9 名	
第 6 回	9/29	13 名	町民の家（ナイトジャンベ）
第 7 回	10/12	4 名	総合福祉センター
第 8 回	11/3 AM	9 名	
イベント出演	11/3 PM	9 名	町文化センター（いちゃりば祭）
第 9 回	12/7	11 名	総合福祉センター
第 10 回	R7 1/25 AM	12 名	
イベント出演	1/25 PM	12 名	総合福祉センター（初春の集い）
第 11 回	2/8	8 名	総合福祉センター
第 12 回	3/8	5 名	

○映画鑑賞会

期 日	参加者	映画名	会 場
R7 1/21	10 名	人生フルーツ	シアタードーナツ(沖縄市)

⑥ 声の広報等発行事業

○リーディングサービス「あいあい」(ボランティア) 団体活動支援

対象者	録音回数	発行本数	内容
2 名	12 回	24 本	町広報誌を朗読・録音し、視覚障がい者へ届ける

朗読ボランティア：リーディングサービスあいあい 5 名

郵送の方法：嘉手納郵便局の協力による無料郵送

⑦ 三町村登録手話奉仕員養成講座(入門過程)

開催回数：31 回

受講生：10 名(累計 297 名)

講座内容

	回数	講師	備考
通常講師による講座	28 回	ろう講師：本田田都子氏 聴講師：宮城恵美子氏	
外部講師による講座	2 回	ろう講師 1 名、聴講師 1 名、 手話通訳者 2 名	
交流会	1 回	通常講師：本田田都子氏 宮城恵美子氏 地域のろうあ者 2 名	地域のろうあ者を招き、実際 手話を用いて交流を深めた

(12) 食料支援事業

生活困窮者への支援として社協から食料支援を行う。そのための食料寄付も社協が受付、琉球銀行からは今年度も食料寄付の窓口としての活動いただき、計 8 回の寄付をいただく。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	備考
食料支援	98 件	86 件	77 件	1 回につき 10 日分、 再支給は 1 か月後を目安とする
食料寄付受付	37 件	27 件	30 件	社協にて随時受付、食料支援を行う。

※ろうきんコザ地区推進委員会より 250 点、(株)沖縄ヤクルトより年 4 回・累計 4120 本の寄贈含む

(13) 第 9 回嘉手納町社会福祉大会の開催

嘉手納町内において「地域共生社会」の実現をめざし、「地域愛♡今こそゆいまーるのまちづくり」をスローガンのもと、町民一人ひとりが地域福祉の推進にむけて共通認識を深めるとともに、本町の地域福祉の向上に尽力された方々を表彰すること目的に開催した。

期 日	内 容	参加者	場 所
R7 2/20	①表彰・大会長表彰 個人 38 名・5 団体 ・大会感謝 個人 2 名・11 団体(多額寄付者) ②社協の地域活動報告 「誰もが安心して暮らせる地域を目指して」 ③講演・演題：泉とオーバーのよんな～笑って介 G0～ ・講師：喜舎場泉氏・山田力也氏	123 名	総合福祉センター 4 階大集会室

## 2. 福祉活動推進事業

### (1) 児童・青少年福祉事業

#### ① 2024・第30回比謝川鯉のぼりフェスタ

※福祉センターリニューアル工事中のため、イベントは開催せずに鯉のぼりのみ掲揚

#### ② 制服リサイクル事業

町内の小・中・高校の不要になった制服を寄贈していただき、必要としている方へ無償で提供を行うことにより、制服のリサイクルを図る。

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
寄贈件数	41件	32件	47件	38件	33件
提供件数	91件	61件	92件	—	—

### (2) 老人福祉事業

在宅の高齢者や一人暮らし老人等が、要介護状態にならないための生きがい活動支援をすることにより、安否の確認や高齢者の自立と生活の質の向上を目的に実施した。

#### ① ふれあい訪問事業

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ボランティア	29名	28名	35名・1団体	35名・1団体
利用登録者	44名	48名	57名	64名
実施回数	53回	52回	52回	48回
年間訪問件数	2,150回	2,309回	2,657回	2,073回

#### 利用者状況

区別	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
新規利用	1	1	0	0	5	2	9
利用終了	2	1	3	3	3	1	13
登録者	8	13	11	4	7	1	44

(令和7年3月末現在)

#### ② 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）

制度や事業の狭間にあり、閉じこもりがちな高齢者の方々を対象に、新たな社会参加の場を提供し、仲間づくりの場、孤立感の解消、地域の見守り、閉じこもりの防止、介護予防、健康づくりを目的して実施する。

実施日：毎月第1月曜日（11回実施）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延べ利用者数	26名	32名	28名	17名	41名
登録利用者数	5名	5名	9名	8名	8名
延べボランティア者数	38名	47名	32名	17名	47名

### (3) 母子・父子福祉事業

#### ① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援

NPO法人嘉手納町母子寡婦福祉会が継続安定した運営が行えるよう、必要に応じた支援等を行う。



### 3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能

#### (1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）

障がい者の自立支援と社会参加を促進する目的で、町の受託事業として地域活動支援センターを運営した。

開設日：月曜日～金曜日 午前9時～午後3時

定員：35名

利用者：新規2名、継続31名、退所1名、体験3名（体験延べ日数74日）

場所：総合福祉センター1階（センター改修工事のため、～5月24日はネーブルカテナ内）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開所日数	241日	238日	241日	229日
延利用者数	1,762人	2,127人	2,174人	1,675人

#### ① 基礎的事業

利用者が安心していられる居場所を提供し、生活リズムを整える。生産活動により就労への向上心、レクリエーション等自主的な活動及び地域住民や他団体との交流を図る。

また、利用者の買い物、食事、生活習慣等の日常生活に即した課題に対する個別的な支援や指導などをおこなう。

#### ② 強化事業

No	事業の種類	事業内容	件数
1	個別支援計画	利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた計画を作成し、これに基づき利用者に対してサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施する。	14
2	相談支援事業	障害のある方やそのご家族などから様々な相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用支援、関係機関との連絡調整などを行うことで、その人らしく生活が送れるよう支援する。	932
3	啓発活動	障害のある方に対する理解を深めるため、地域の祭りや行事等への参加を行う。 ・社協ふれあい訪問事業の袋詰め作業 48件 ・精神保健福祉普及運動の役場パネル展示 1件 ・障害者週間に合わせたイベントでのパネル展示 1件 ・マミーズマーケットでの販売 1件 ・中央区老人会が着用するコサージュ作成、販売 1件 ・クリスマス会での大正琴とバンド演奏 1件	53

### 4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）

ボランティアセンターを中心としたボランティアの養成と育成、また活動推進を目的として下記の事業を実施した。

#### (1) 福祉教育の推進

##### ① 福祉教育協力校助成事業

指定校	コース	助成金
屋良小学校	ベーシックコース	30,000円
嘉手納小学校	ベーシックコース	30,000円
嘉手納高等学校	チャレンジコース	50,000円

② 福祉教育推進助成事業

指定校	助成金
ミッキー保育園	30,000 円
第三まきら保育園	30,000 円
光の子幼児学園	30,000 円
光の子幼児学園 第二嘉手納園	30,000 円
第二保育所	30,000 円
さんさん保育所	30,000 円
嘉手納幼稚園	30,000 円
計	210,000 円

③ 小学生ボランティアスクール事業

期日	参加者	協力	内容
11/23	屋良小学校 6 名 嘉手納小学校 11 名 ボランティア（中学生 3 名）	(有)きらめき	ジョブきらめき（障がい事業所）において「きらめき☆かがやき☆障がい事業所を知ろう」をテーマに実施

④ 中高生ボランティア事業

いもっ子 SUMMER SCHOOL

地域で行われている「子どもの居場所」を体験し、「つながり」や「居場所」を学ぶことで、自分たちの「理想の居場所」について考える。また、嘉手納町・読谷村の中高校生の交流を深めること、地域を担う人材の輪を広げることを目的として実施した。

期日	参加者	内容
8/6	嘉手納町・読谷村内の中高校生等 17 名 ・嘉手納高校生 1 名 ・嘉手納町内 他高校生 1 名	・子どもの居場所体験（読谷村） 場所：大木公民館、レアーズ ・ふりかえり、ワーク

Ⅰ 人暮らし高齢者宅等清掃ボランティア活動

期日	参加者	訪問世帯数	内容
8/15	嘉手納中学校 9 名 嘉手納高校 4 名	4 世帯 (高齢)	旧盆と正月前に 1 人暮らし高齢者世帯、障がい者世帯の清掃活動を行う。
12/22	嘉手納中学校 4 名 嘉手納高校 3 名	3 世帯 (高齢・障がい)	

⑤ ボランティア感謝の集い

期日	参加者	内容	会場
R7/3/23	12 団体 58 名	モルック交流会	嘉手納スポーツドーム

#### ⑥ 福祉教育お話し会

自分が地域で大切にしていきたいことや、どんなことができるだろうか、などをかんがえるきっかけづくりとして開催した。また、子ども達がゲームを通して、「思いやり」「協力」「支えあい」の心を持ちながら、楽しんでイベントに参加することを目的に実施した。

期日	内容・参加者	会場
R7/3/29	・福祉教育お話し会 参加者：20 名 「優しい心って何だろう？」 講師：やなえもん氏 ・子ども向け宝探しゲーム 参加者：13 名	総合福祉センター

### (2) ボランティア支援事業

#### ① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）

#### ② ボランティア広報誌

ボランティアや関係機関に対して町内の様々なボランティアに関する情報を提供することによりボランティア活動を支援し、ボランティア活動の広がりを図る事を目的とする。

発行回数：4 回

#### ③ ボランティア保険への加入促進

ボランティアが安心して活動できるよう、ボランティア保険への加入促進と掛金を負担した。

年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
ボランティア活動保険	189 名	276 名	233 名	268 名
ボランティア行事用保険	7,385 名	9,104 名	5,756 名	7,725 名
福祉サービス総合補償	189 名	539 名	2,844 名	108 名

#### ④ ふれあい訪問ボランティア研修

期日	参加者	内容
R6/10/18	10 名	ふれあい訪問事業についての説明、 ジミーアイランドグリルにて食事・交流 町内施設の見学（町歴史民俗資料室、比謝川自然体験センター）

### (3) ボランティア団体助成事業

ボランティア団体に助成金を交付し、活動を支援した。

団体名	助成額
リーディングサービスあいあい	30,000 円
計	30,000 円

### (4) ボランティア活動拠点整備

ボランティアセンター（利用回数 30 回・利用延人数 151 名）

ボランティア（個人・団体）登録及び斡旋

登録状況：ボランティア団体登録数 29 団体（498 名）

福祉教材等貸出：高齢者疑似体験セット 3 回、点字版 1 回

### III. 福祉サービス利用支援部門

#### 1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者や知的・精神障害者の方の福祉サービスの利用援助や金銭管理、印鑑・通帳などの書類の預かりを行う事業を実施。

◇生活支援員：1名（活動者数1名）

◇利用者：4名

#### 2. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進など安定した生活が送れるようにすることを目的とする。

昨年度から継続して特例貸付の償還免除や償還猶予、減額相談に対応してきた。借受人に対して、ハガキでの案内や架電、訪問を実施し相談しやすい対応を心掛けた。また、借受人からの生活相談などに、関係機関やコミュニティソーシャルワーカーと連携して支援を行った。

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	264	283	331	527	801
貸付件数 (内、特例貸付)	4 (0)	2 (0)	70 (69)	497 (493)	604 (604)
貸付金額(円) (内、特例貸付)	448,000 (0)	286,000 (0)	25,046,000 (25,000,000)	228,475,000 (225,780,000)	232,646,000 (232,646,000)

##### ○貸付件数内訳（令和6年度）

貸付種類	件数	金額(円)
福祉資金（緊急小口資金）	1	69,000
緊急小口資金	2	142,000
総合支援資金	1	237,000
計	4	448,000

##### ○特例貸付償還免除（令和4年6月～令和7年3月末）

非課税要件、生活保護・障害者手帳要件、猶予後免除、死亡免除、免責免除含む

	決定件数	金額(円)
緊急小口資金	255	47,244,100
総合支援資金（初回）	239	129,898,000
総合支援資金（延長）	87	48,027,000
総合支援資金（再貸付）	91	49,950,000
計	672	275,119,600

※特例貸付決定状況 1,167件 483,626,000円

##### ○特例貸付償還猶予後免除、猶予延長（令和4年6月～令和7年3月末）

		内訳		
決定件数		小口	初回	延長
猶予後免除	28	11	10	7
猶予延長	42	19	17	6

○特例貸付償還猶予相談（令和6年4月～令和7年3月末）

申請数	内訳			
	小口	総合初回	総合（延長）	総合（再貸付）
60	19	13	7	16

## IV. 在宅福祉サービス部門

### 1. 高齢者等食の自立支援事業（配食サービス・町受託事業）

日常生活に支障のある在宅高齢者に対し、給食サービスを通して食生活の改善と健康増進を図るとともに、安否確認など高齢者の自立と質の良い生活が送れるよう支援した

実施日：月曜日～土曜日 週6日（台風、元旦除く）

配達員：1日2名

調理・配達：沖縄県高齢者協同組合 配彩ナビィー

料金：普通食 500円（内、個人負担250円）

特別食 550円（内、個人負担320円）

きざみ食 600円（内、個人負担370円）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
年間配食数	5,406食	6,627食	6,411食	7,425食	7,402食
月平均	450食	552食	534食	618食	616食

利用者状況 ※（ ）は前年度実績

令和7年3月末現在

区	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
登録者	23 (22)	19 (20)	20 (19)	10 (13)	5 (5)	18 (16)	95 (95)
利用者	11 (13)	12 (17)	14 (13)	4 (9)	0 (0)	6 (10)	47 (62)
休食者	9 (9)	5 (3)	5 (5)	4 (3)	4 (4)	9 (5)	36 (29)
入院者	3 (0)	2 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	3 (1)	12 (4)

### 2. 地域介護予防活動支援事業（ミニデイサービス・町受託事業）

各区を単位としてコミュニティセンターを拠点に在宅の高齢者や身体障害者などの要援護者に対し、健康で生きがいのある生活づくりができるよう、民生委員、自治会、ボランティア、関係機関の協力を得て実施。

・各區別実施日数及び利用者延べ人数等

推進地区	開催日	利用延べ人数	協力員延べ人数	開催数
東区がんじゅう会	毎月第2水曜日・第4金曜日	207	297	22
中央区あしびな一会	毎月第2月曜日・第4月曜日	184	222	20
北区百の会	毎月第2木曜日・第4木曜日	257	292	23
南区かりゆし会	毎月第2火曜日・第4火曜日	232	274	23
西区ゆんたの会	毎月第3水曜日・第4水曜日	200	260	23
西浜区ことぶきの会	毎月第1火曜日・第3火曜日	270	322	23
計		1350	1667	130

### 3. 介護用品貸与事業

在宅療養者へ車イスの貸出しを行い、在宅介護支援と介護者の負担軽減を図った。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸与件数	62件	43件	40件	40件	31件

### 4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、遊びや様々な活動を通して生活能力やソーシャルスキルの発達を支援している。また、学校などの関係機関や地域と連携し、障がい児の自立を促進することを目的に実施する。

### 5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

未就学児を対象とした事業であり、基礎的な生活習慣、小集団での過ごし方、コミュニケーション能力の向上等を目指すために実施する。

・わくわくクラブあすなろ実績内訳

事業名	職員	定員	登録児童 (前年度)	開所日数	利用実績 (前年度)
放課後等デイサービス事業	5名 (兼務)	8名	24名 (25名)	242日	延べ1850名 (1776名)
児童発達支援事業		2名	2名 (1名)		126名 (8名)

※ 登録内訳 令和6年度 登録人数26名（嘉手納町18名・読谷村8名）